

平成22年第4回(9月)掛川市議会定例会
一般質問発言順序

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | 6番 | 山崎恒男君 |
| 2 | 5番 | 柴田正美君 |
| 3 | 3番 | 栞原通泰君 |
| 4 | 14番 | 鈴木正治君 |
| 5 | 10番 | 山本行男君 |
| 6 | 9番 | 川瀬守弘君 |
| 7 | 8番 | 中上禮一君 |
| 8 | 15番 | 大庭博雄君 |

平成22年第4回(9月)掛川市議会定例会
一般質問発言順序(予定)

9/9 AM 6番 山崎恒男君

5番 柴田正美君

PM 3番 榎原通泰君

14番 鈴木正治君

9/10 AM 10番 山本行男君

9番 川瀬守弘君

PM 8番 中上禮一君

15番 大庭博雄君

一 般 質 問 通 告 要 旨	議席番号	6	氏名	山 崎 恒 男
-----------------	------	---	----	---------

- 1 「掛川市行財政運営方針及び行財政改革方針」と「指定期間満了施設の指定管理者決定方針」について (答弁：市長)
- (1) 改革の方針1「財源増収のための見直し」について、これを実行に移す決意と、更なる増収対策は考えられないか伺う
 - (2) 改革の方針2「固定的経費を主とした歳出削減のための見直し」について職員定数の削減計画の考えについて伺う
 - (3) 改革の方針3「希望がみえるまちの実現に向けた施策の実施」について「市民政策公募制度」の実施と、職員の提案制度を拡大して、政策提案を募る考えはないか伺う
 - (4) 「指定期間満了施設の指定管理者決定方法について」指定管理者の変更に伴う職員の処遇について伺う
- 2 尾道市公立みつぎ総合病院の「地域包括ケアシステム」を視察して、掛川市地域健康支援センターへの活用について (答弁：市長)
- (1) 地域健康医療支援センターの取り組みとして、新病院開設後に病院退院後の、後方支援対策についての具体的計画について、いかに考えられているのか伺う
 - (2) みつぎでは寝たきり減少を図るためにリハビリテーションの充実が図られている。本市も隣接市町の病院で施設整備が図られ利便性は向上したが、通院が難しい方の訪問リハの対策及び、医療保険による訪問リハの対応について伺う
 - (3) 福岡県においては保健所が中心となって、終末医療の在宅ケアの取り組みが積極的に推進されている。尾道市みつぎにおいても在宅ホスピス機能を持った、緩和ケア病棟が開設されていたが、終末医療の本市における今後の対応策について考えを伺う
 - (4) 本市が実施する地域健康医療支援センター業務の目的を達成するため、現有介護保険施設で対応は可能か、施設不足等の不安はないか伺う
 - (5) 地域健康医療支援センターの整備について、計画では旧掛川地域には今後2ヶ所の設置が予定されている。現状の包括支援センターの地域エリアは地域的に馴染まない点があると思うが、見直しの考えはないか。また、今後のセンター設置についての実施見通しについて伺う

一般質問通告要旨	議席番号	5	氏名	柴田正美
----------	------	---	----	------

1 都市計画税の見直しについて (答弁：市長)

- (1) 「非線引き自治体と線引き自治体では不公平ではないか」の質問に、「市街化調整区域がうちはないから課税できる」と答弁。しかし50年も何の事業もやっていないということは実質市街化調整区域同様ではないか。見解を伺う
- (2) 線引き、非線引き自治体に限らず、市街地化しないところは課税しない努力が必要と考えていいのか。見解を伺う
- (3) 地籍調査について、本年度の計画について伺う
- (4) 市長は3月議会で有識者の意見尊重を4回も答弁された。前回紹介した小柳津委員の御意見をどう受け止めたのか。「形式的な理由を当てはめるような市長提案は妥当でない」他の三橋座長の発言をどう受け止めたか
- (5) 「受益がないところが他にもないか引き続き検討の余地がある」答申も出ている。市長の見解を伺う

2 平成23年度予算方針に関連して (答弁：市長)

- (1) 国民健康保険について
 - ① 国保は社会保障の制度かそれとも加入者の助け合い(=相互扶助)の制度か、市長の見解は
 - ② 高すぎる保険税を引き下げるため、国に対して国庫補助を元に戻すよう働き掛けるべきではないか。市長の見解を伺う
 - ③ 申請減免制度の申請数と減免数は。国保法44条の病院窓口負担減免制度の利用実績は。利用条件の緩和が必要でないか。住民への周知と活用を図るためのPRについて伺う
 - ④ 2008.10.30「子供に短期証」通達、2009.1.20「生活困窮者は大人にも短期証」事務連絡、2010.3.4「1年以上の滞納者にも配慮を」長妻厚労大臣答弁に基づき、資格証明と短期証の交付の見直しの考えについて見解を伺う
 - ⑤ 本年度繰越金が4億2千万円余でている被保険者1人当たり1万円以上の一般会計繰り入れや基金取り崩しが全国の大勢であり、値上げ回避に向けて努力する考えについて伺う

(2) 子供医療費無料化拡大について

- ① 本年10月から静岡県が子供医療費の無料化を拡充、入院・通院とも未就学児が、入院については中学3年までとなる。拡充する考えがあるか伺う

3 消防団該当年齢特別協力金について (答弁：市長)

- (1) 30分団の内、23分団が受け取っているという消防団特別協力金について市長の見解を伺う

4 熱中症対策など生活弱者対策について (答弁：市長)

- (1) 熱中症で亡くなる高齢者が相次いでいる。水道、電気が止められた世帯、高齢者単身・夫婦世帯への見守り支援体制の強化について市長の見解を伺う

5 高齢者世帯への家庭ごみ戸別収集はできないか、検討の考えはあるか伺う (答弁：市長)

一 般 質 問 通 告 要 旨	議席番号	3	氏名	栗 原 通 泰
-----------------	------	---	----	---------

1 消防広域運営に伴う掛川市としての対応策について伺う (答弁：市長)

(1) 「消防救急体制が充実したまちづくり」を掲げて研究、検討してきたと思うが、「中央消防署の建て替え時期・移転先候補地・要員体制等」具体的な方針について伺う

(2) 中央消防署の移転先とも深く関わりを持つものであるが、北部地域の分遣所設置について、市長としての考え方を伺う

2 地域の災害ボランティアの人材づくりについて (答弁：市長)

(1) 掛川市独自の「災害ボランティアコーディネーター」と「避難所運営コーディネーター」の人材育成について考え方を伺う

(2) 東海地震と東南海地震と南海地震の同時期発生も考慮した市の防災対策の検討(研究)はどのように考えているか伺う

一般質問通告要旨	議席番号	14	氏名	鈴木正治
----------	------	----	----	------

1 観光施策について

(答弁：市長)

- (1) 掛川市観光基本計画が平成20年に策定されたが、その後の観光施策にどのように活かされているか伺う
- (2) 富士山静岡空港の活用について
 - ① 空港での掛川市のPR策を伺う
 - ② 観光客を受け入れる玄関口、掛川駅のトイレ・誘導看板などの整備について伺う
 - ③ 外国人観光客に対するの対応策について伺う
- (3) 産業観光への取り組みについて
 - ① ヤマハはピアノ生産を掛川市に集約し、ピアノの街となった。ピアノを観光施策に取り入れられないか伺う
 - ② 資生堂は、企業資料館・アートハウスなどもあり、韓国・中国など東南アジアで大変な人気である。掛川市への誘客に結び付けられないか伺う
 - ③ お茶のまち掛川のイメージ戦略として、玄関口掛川駅にお茶の香りは出せないか伺う

2 大池公園整備について

(答弁：市長)

- (1) 平成19年3月に大池公園整備構想検討委員会から検討結果報告書(案)が出されているが、今後の実施計画はいつからどのように策定されるのか伺う

一 般 質 問 通 告 要 旨	議席番号	1 0	氏名	山 本 行 男
-----------------	------	-----	----	---------

1 うつ病対策について伺う (答弁：市長)

国民病ともいべきうつ病、ここ10年で2.4倍と急増している傾向は掛川市でも例外ではない。次の項目について伺う

- (1) 本市における患者実態把握はどうか
- (2) 自殺、介護うつ、児童虐待等従来の社会保障だけでは対応できない問題が増加しているそれらの課題と対応は
- (3) 薬物療法と精神療法を組み合わせた認知行動療法がいま注目されている新市民病院開設に向け専門医の確保について伺う

2 がん予防対策について伺う (答弁：市長)

- (1) 昨年度実施した乳がんと子宮頸がんのクーポン券による検診について伺う
 - ① この事業の費用対効果と検診率について伺う
 - ② 今年度で2年目の実施であるが、対象者が一巡する5年間の実施の考えについて伺う
- (2) 子宮頸がんワクチン接種の実施について伺う
 - ① 国は23年度で助成事業として約150億円の予算を盛り込む事が明らかになった。県、市の負担割合もあるが実施に向けての考えについて伺う

3 ゲリラ豪雨にどう対応するか伺う (答弁：市長)

雨の降り方に変化が生じている。それに伴い土砂災害が発生し甚大な被害を日本はもとより世界中の報道機関が伝えている。掛川市も例外ではない、住民の生命の安全と財産をどのように守っていくか伺う

- (1) 本市の近年の気象変動の実態とそれに伴う土砂災害事例について伺う
- (2) 掛川市のハザードマップはゲリラ豪雨などを想定したものになっているのか伺う
- (3) 掛川市の「深層崩壊」等の発生する危険のある場所や規模などの調査について伺う

一般質問通告要旨	議席番号	9	氏名	川瀬守弘
----------	------	---	----	------

1 浜岡原発5号機の耐震安全性について (答弁：市長)

- (1) 5号機の安全性に対する国の審査は、中電の調査結果を検討中の段階である。市長は「5号機の運転再開前に、事業者からの説明だけでなく、国からもしっかりと説明を聞けるよう求めていく」と表明された。また、「5号機の再開には、あくまで東海地震に対応できる説明が必要であり、中電の方にも話をしていきたい」と表明された。この間の取り組みについて対応を伺う

2 地域医療・救急医療体制の充実、市立総合病院の充実について (答弁：市長)

- (1) 急性期医療と回復期医療、介護を一体的に提供する病院施設が、掛川市民にとって市内に必要であると考えがいかがか

3 消防の広域化課題について (答弁：市長)

- (1) 掛川市消防本部・署の車両及び人員の状況について

- ① 整備指針によると「はしご自動車」「非常用消防自動車」が不足している。
今後の整備方針について伺う
- ② 警防要員確保について伺う

- (2) 「広域化」の中で市民の安心・安全をどう担っていくか伺う

一般質問通告要旨	議席番号	8	氏名	中上禮一
----------	------	---	----	------

1 重症心身障害児・者の支援策について

(答弁：市長)

現在、掛川市には重症心身障害児・者の方が50人いるが、在宅ケアが中心で厳しい生活を余儀なくされている。就学前から高等部までの方が20人、高等部卒業以降の方が30人。現状の課題とその支援策について次の3項目を伺う

- (1) 高等部卒業後の受入施設はどのようになっているのか
- (2) ショートステイの受入先確保の現状をどのように考えているのか
- (3) 介護士等人材育成への取り組み状況はどのようになっているのか

2 城下町風街づくりの構想について

(答弁：市長)

今年度6月に出された市民意識調査の統計によると、「掛川駅周辺を中心市街地は魅力的で楽しい場所だと感じますか。」の問いに、非常に思うが0.7%、まあまあ思うが12.2%と肯定的な回答が約1割だった。城下町掛川に活力を取り戻すための街づくりへ向けての構想について次の3項目を伺う

- (1) 木造駅舎を城下町の玄関としてどのように活かそうと考えているのか
- (2) 掛川駅前再開発ビルは木造駅舎とともに城下町の玄関にあたる。城下町風街づくりとの整合性についてどのような見解をもっているのか
- (3) 城下町とお茶が街づくりのコンセプトになると思うが、観光開発と商品開発に対する取り組みについてどのように考えているのか

一 般 質 問 通 告 要 旨	議席番号	1 5	氏名	大 庭 博 雄
-----------------	------	-----	----	---------

1 日本一のまちづくりについて

(答弁：市長)

元気のない日本、この中で、市長の目指す3つの日本一（健康医療・環境・市民活動）の実現は市民に元気を与えてくれる。これに関して次の2項目について伺う

- (1) 市民の夢と誇りを高めるため、3つの分野に関わらず、掛川市が日本一のものを探し出すとともに、新しく創りだしていったらどうか。県下についても同様に考えるがいかがか
- (2) 日本一のまちづくりを、どのように企画・計画し、市民活動として展開していくのか伺う

2 安全安心のまちづくりについて

(答弁：市長・教育長)

- (1) 市の西部地区に不審者が出没し、子供に声をかけ、車に乗せられそうになった事件が数回発生した。市としてどのように対応したか。今後どのように対応していくか伺う
- (2) 同じく西部地区で最近1週間に2件の山火事があった。夜間でもあり、普段は一般の人の通行はないところである。消防本部・消防団の皆さんのおかげで大事にならず済んだが、このような火事を未然防止する対策はないか伺う

3 新病院周辺のまちづくりについて

(答弁：市長)

新病院周辺は、これから都市化すると思われ、より住みよいまちづくりをするために、地域住民と一体となり都市計画を進める必要があると考える。次の項目について伺う

- (1) 新病院周辺私有地のまちづくりを市としてどのように考えているか伺う
- (2) 新病院周辺は今でも静かな環境であるが、住民はこの環境をできるだけ守りたいと願っている。いかがか伺う